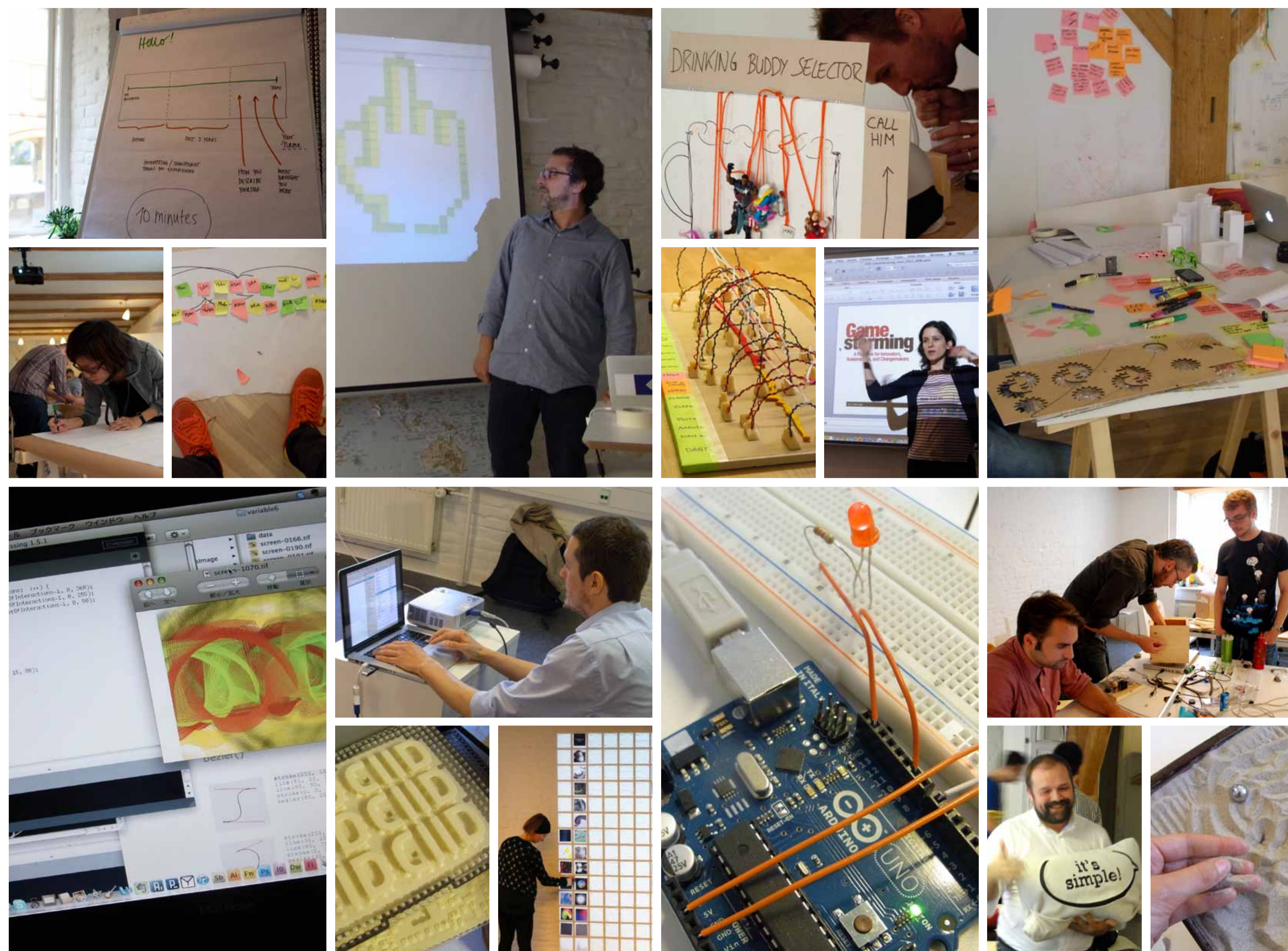




CIID COPENHAGEN INSTITUTE OF INTERACTION DESIGN SUMMER SCHOOL 2011

田中翔子 (千葉工業大学院 工学研究科)



2011年7月11~29日の3週間、デンマークの首都コペンハーゲンにある Copenhagen Institute of Interaction Design (CIID) という学校の Summer School に参加してきた。CIID は、2007年設立された比較的新しい学校であり、1年間のインタラクションデザインのマスターコースが置かれている。Summer School では、週ごとに Exploring Interaction Design, Computational Design / Physical Prototyping (どちらか選択), Physical Computing と3つの授業

から構成されており、参加者は自分の好きな授業を取ることが可能である。17の国籍、年齢(20~40代)、職業(学生、先生、エンジニア、UX、ゲーム、グラフィック、プロダクトデザイナー、アーティスト等)が全く異なる33人が集まり、様々なデザインプロジェクトを行った。「経験」という形のないデザインアイデアを、いかに効率良くかつ魅力的に示すか、ということも多く学んだ。私が現地で制作した作品をいくつか紹介する。

Week 1: Exploring Interaction Design

Faculty: Matt Cottam & Maia Garau



課題: あなたのソーシャルネットワークを表す3次元のモデルを廃材で制作しなさい。(5時間)

授業当日自分の誕生日だったので、Facebookやメールで誕生日メッセージをくれた友人に焦点を当てた。これは、2011年の誕生日カプセルである。円筒の透明ケースが「誕生日の1日」、小さい紙ボールは「個々の友人」を表しており、メッセージくれた友人が時間別に分けられている。ケースを開けて紙ボールの中身を見ると、「友人の名前」裏面には「メッセージ内容とメッセージ到着時間」が書かれている。特に、Sweetなメッセージをくれた友人には、紙ボールの中にキャンディーが入っている。

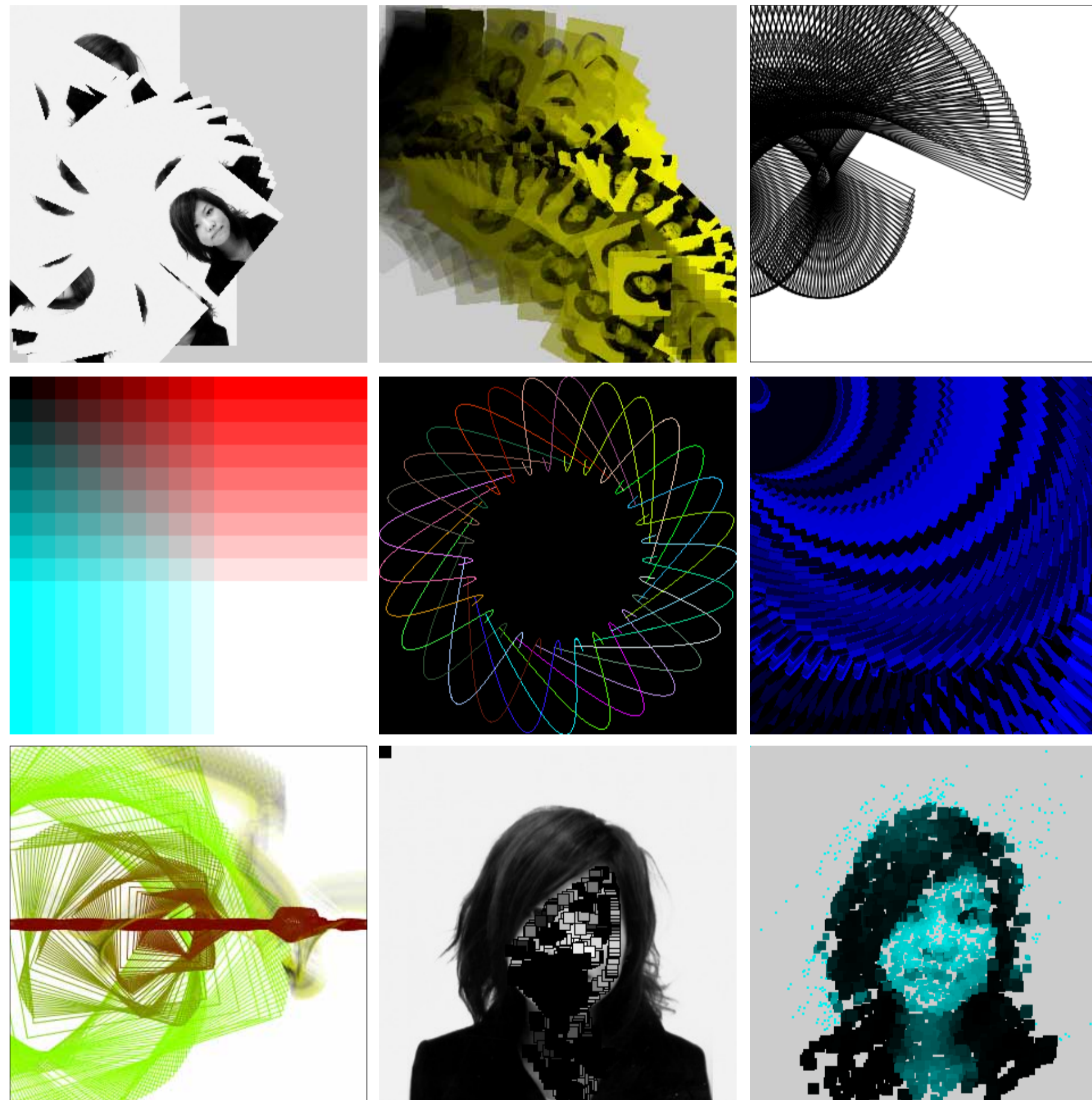
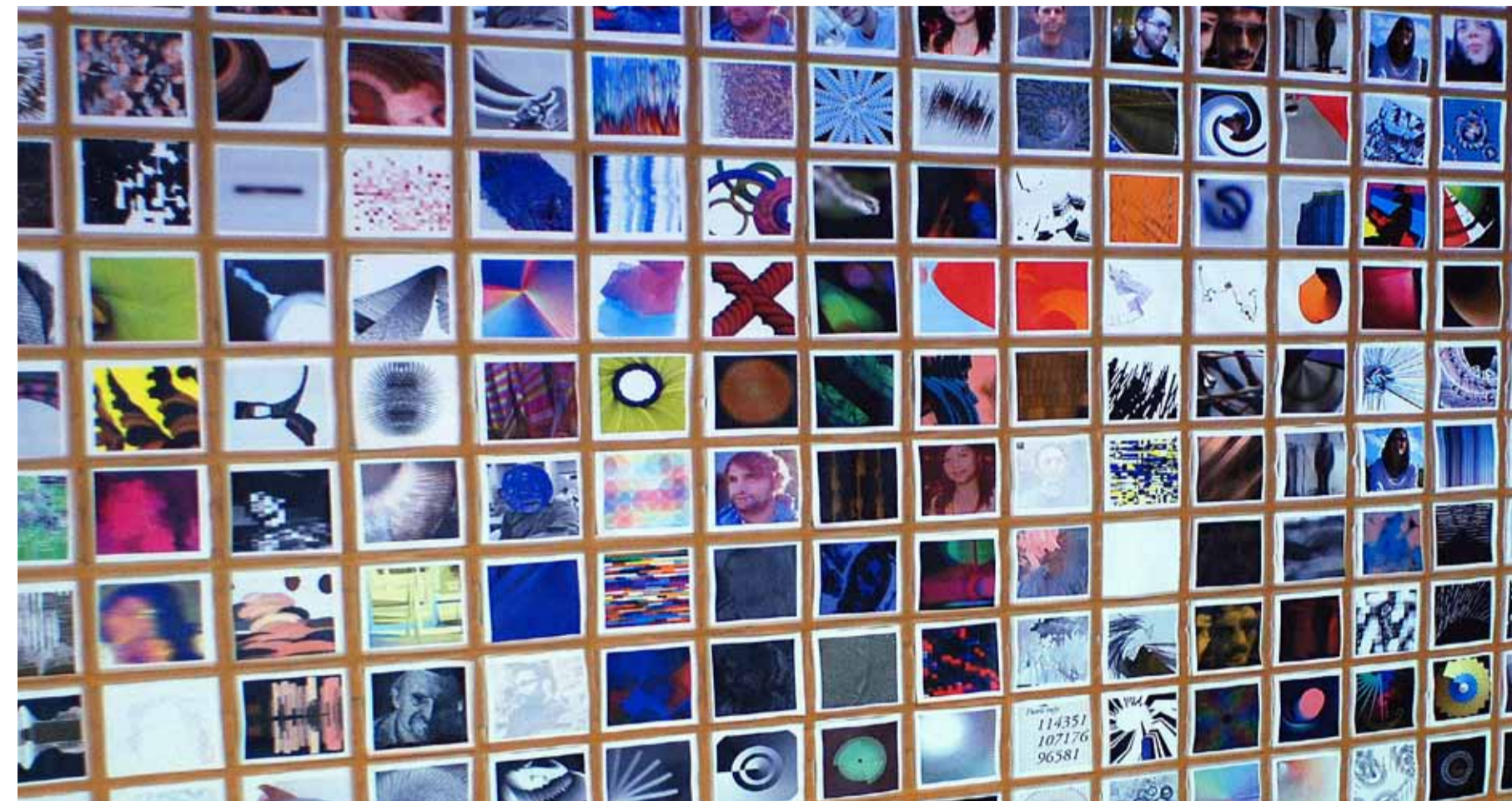


課題: 都市をプラットフォームにした新しいサービスを考え、アイデアを動画で表現しなさい。(2日)

Sprocketとは、公共自転車の利用を促すため、ゲーム化されたサービスシステムである。それぞれの自転車にキャラクターが設定されており、ユーザーは自転車を利用する度、キャラクターに応じたポイントが加算される。ポイントが貯まると、無料のコーヒー券やミュージアム券などをもらえることができる。Bryan, David, Gijsとの共同制作。私は主に、ドローイングを担当した。

Week 2: Computational Design

Faculty: Patrick Kochlik

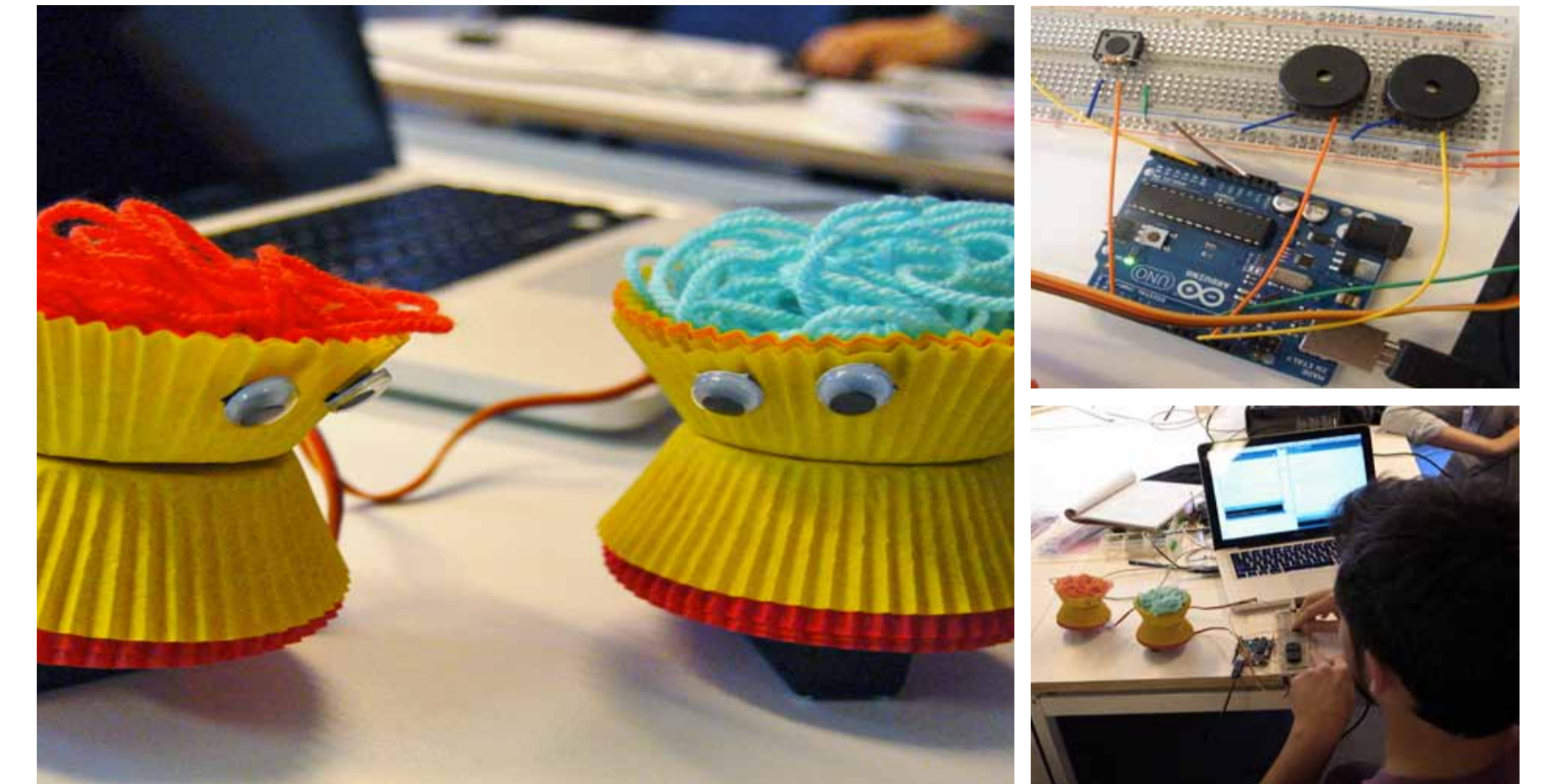


課題: 自身のポートレートを用いて、Processingで美しいグラフィックスを制作しなさい。

変数、繰り返し、条件分岐、配列など、基本的なプログラミングの考えを習得しながら、グラフィックス制作を行った。基本コードや考え方はみんなほぼ同じ内容であったが、出来上がった作品は多様な結果となった。

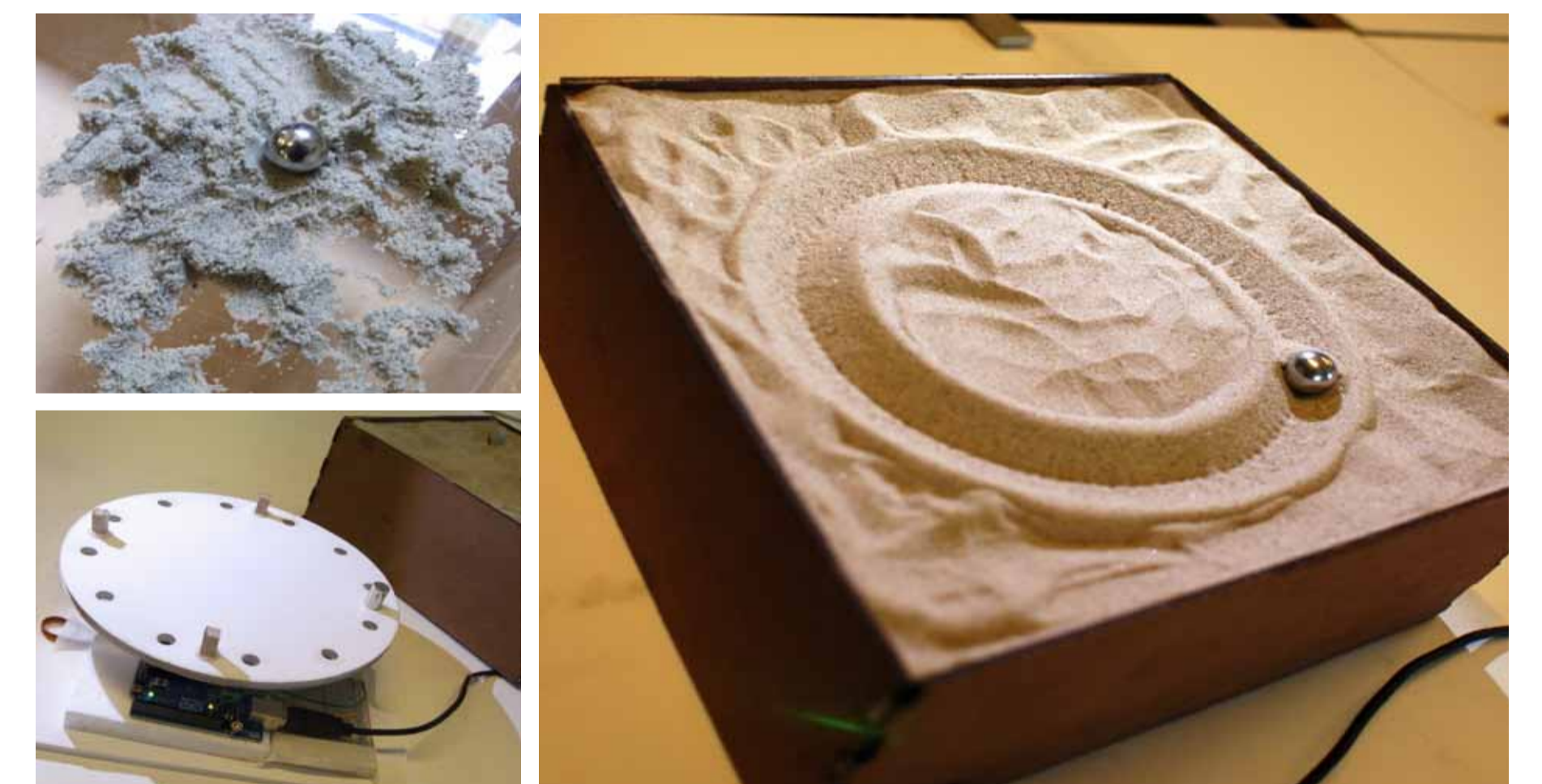
Week 3: Physical Computing

Faculty: Massimo Banzi



課題: エモーショナルなインタラクションを起こす作品をArduinoを用いて制作しなさい。(3時間)

レバーを回すとロボットが動き、ボタンを押すとロボットがしゃべります。2体のロボットが向き合うと、お互い会話を始める。ゲームデザイナーのBryanと共同制作。私は主にコンセプトと人形制作を行った。ロボットの素材は廃材を使用。



課題: "Clock"というテーマでArduinoを用いて制作しなさい。(2日)

私たちは、日々どうやって時間を感じているだろうか? 振り返ると、電子機器や時計に表示された「数字の変化」でしか時の流れを感じ取っていないのではないだろうか? Sand Clockは、経過して行く時間を砂と鉄球の動きで抽象的に表現したものである。1分間に1回鉄球が動き出す。時間が経つほどに砂の溝は深くなっていき、砂を触って玉の軌跡を消すと、経過した時間をリセットすることが出来る。Agnieszka, Leiとの共同制作であり、私は主にコンセプトとBox制作を行った。Boxの中にはArduinoが入っており、サーボモーターが回転すると、磁石でくっついている鉄球が同時に動く、という仕組みになっている。